

ILMI のアドレス登録問題 : %LANE-3-NOREGILMI

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[関連するエラーメッセージ](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[ILMI のチェック](#)

[ILMIステータス](#)

[ILMI がスイッチインターフェイスで無効にされる時](#)

[読み取り専用で設定されるアクセス リストコンフィギュレーションに関する問題が ILMI コミュニティ](#)

[既知の警告](#)

[スイッチが NSAP アドレスを認識している場合](#)

[NSAP アドレスがスイッチで静的に設定される時](#)

[NSAP アドレスが別のデバイスによって ILMI によって登録されている時](#)

[設定に関する問題](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、LAN エミュレーション (LANE) を使用する場合に、Cisco デバイス上での暫定ローカル管理インターフェイス (ILMI) のアドレス登録の問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

各ノード内のリンクと関連付けられる ILMI 管理情報ベース (MIB) にアクセスする User-Network Interface (UNI) を渡す ILMI プロトコル使用簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 形式パケット。ILMI プロトコルは隣接ノードが互いの特性を判別するようにすることによってネットワーク全体に渡した自動設定を容易にします。これらの特性の例は互いの接続スペースのサイズ、ネットワーク管理オートディスカバリー (UNI か NNI)、リンクの型 (パブリックか private) およびフック使用するシグナリングの種類です。

ILMI もアドレス登録のために使用されます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

関連するエラーメッセージ

アドレス リゾリューション問題は通常次のエラーメッセージと関連付けられます:

```
%LANE-3-NOREGILMI: [chars] [chars] cannot register [ATM address] with ILMI
```

次に、例を示します。

```
%LANE-3-NOREGILMI: ATM2/0/0.1 LEC cannot register  
47.00918100000000603E5A4501.00D0069A7C40.01 with ILMI
```

このエラーメッセージは次のいずれかによって報告することができます:

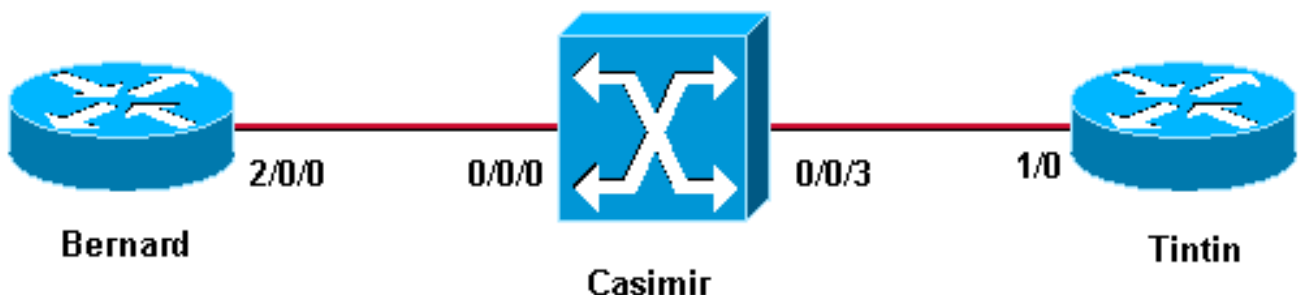
- LANエミュレーション構成サーバ (LECS)
- LANエミュレーションサーバ (LES) またはブロードキャスト アノウンサーバ (BUS)
- LANエミュレーションクライアント (LEC)

この LEC によって直面するアドレス登録問題の資料外観が説明 LECS および LES/BUS における登録問題のためにまた有効であるが。

設定

ネットワーク図

このセットアップは問題を説明します:



このセットアップは使用します:

- Bernard は Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.1(4)を実行する Cisco 7500 ルータです。
- Casimir は Cisco IOS software release 12.0(13)W5(19b) を実行する LightStream 1010 です
- Tintin は Cisco IOS software release 11.2(22)P を実行する Cisco 7000 ルータです。

このセットアップは LANE を使用し、LECS および LES/BUS は LightStream 1010 にあります。

注: ここでは使用される設定は推奨 LANE パフォーマンスが得られません; それは実例として単に使用されています。LANE サービスに関する設計の推奨に関しては、[LANE の推奨設計](#)を参照して下さい。

設定

[Bernard](#) および [Tintin](#) は両方 LEC で設定されます:

Bernard
<pre>interface ATM2/0/0 pvc 0/16 ilmi ! pvc 0/5 qsaal ! interface ATM2/0/0.1 multipoint description *** ILMI addr. registr. test *** lane client ethernet ilmi-test</pre>
Tintin
<pre>interface ATM1/0 atm pvc 1 0 5 qsaal atm pvc 2 0 16 ilmi ! interface ATM1/0.1 multipoint description *** ILMI addr. registr. test *** lane client ethernet ilmi-test</pre>

[ILMI のチェック](#)

[ILMIステータス](#)

ILMI によってアドレス登録問題の場合にはチェックすべき最初の事柄は ILMI 相手先固定接続 (PVC) がこれらの **show** コマンドの使用の上にあるかどうかです:

- ルータで、**show atm vc** コマンドを発行して下さい。
- LightStream 1010 で、**show atm vc interface atm x/y/z** コマンドを発行して下さい。

```
bernard# show atm vc VCD / Peak Avg/Min Burst Interface Name VPI VCI Type Encaps SC Kbps Kbps
Cells Sts 2/0/0 9 0 5 PVC SAAL UBR 149760 UP 2/0/0 1 0 16 PVC ILMI UBR 149760 UP !--- Output
suppressed. Casimir# show atm vc interface atm 0/0/0 Interface VPI VCI Type X-Interface X-VPI X-
VCI Encap Status ATM0/0/0 0 5 PVC ATM2/0/0 0 47 QSAAL UP ATM0/0/0 0 16 PVC ATM2/0/0 0 35 ILMI UP
!--- Output suppressed.
```

ILMI PVC が稼働している場合、どの ILMI 状態にルータおよび ATM スイッチがあるかチェックして下さい。 **show atm ilmi-status** コマンドの発行によってこれをして下さい。

```
bernard# show atm ilmi-status Interface : ATM2/0/0 Interface Type : Private UNI (User-side) ILMI
VCC : (0, 16) ILMI Keepalive : Disabled ILMI State: UpAndNormal Peer IP Addr: 10.200.10.12 Peer
IF Name: ATM0/0/0 Peer MaxVPIbits: 8 Peer MaxVCIBits: 14 Active Prefix(s) :
```

```
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501 Casimir# show atm ilmi-status atm 0/0/0 Interface : ATM0/0/0
Interface Type : Private UNI (Network-side) ILMI VCC : (0, 16) ILMI Keepalive : Enabled (5 Sec 4
Retries) ILMI State: UpAndNormal Peer IP Addr: 15.1.1.1 Peer IF Name: ATM2/0/0 Peer MaxVPIbits:
8 Peer MaxVCiBits: 16 Configured Prefix(s) : 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501
```

正しい状態は **UpAndNormal** です。ルータが LightStream 1010 が適切な ILMI 状態にない場合、ミスコンフィギュレーションがこの資料の以降がある手順を使用してあるかどうか確認して下さい。

ILMI がスイッチインターフェイスで無効にされる時

または ILMI がスイッチ インターフェイスでこれらの **show** コマンドのことを発行によってディセーブルにされるかどうか確認できます:

- **show run interface atm x/y/z**
- **show atm ilmi-status ATM z/y/z**

```
Casimir# show run interface atm 0/0/0 Building configuration... Current configuration: !
interface ATM0/0/0 no ip address no ip directed-broadcast logging event subif-link-status atm
ilmi-keepalive no atm ilmi-enable bernard# show atm ilmi-status atm 2/0/0 Interface : ATM2/0/0
Interface Type : Private UNI (User-side) ILMI VCC : (0, 16) ILMI Keepalive : Disabled ILMI
State: UpAndNormal Peer IP Addr: 0.0.0.0 Peer MaxVPIbits: 8 Peer MaxVCiBits: 14 bernard# show
lane default-atm-addresses interface atm 2/0/0 LANE Client: ...000000000002.** LANE Server:
...000000000003.** LANE Bus: ...000000000004.** LANE Config Server: ...000000000005.00 note: **
is the subinterface number byte in hex Casimir#
```

この場合 ILMI がインターフェイスで **no atm ilmi-enable** コマンドの発行によってディセーブルにされたので、プレフィクスはルータに送信されないし、それ故に、アドレス登録は行われる場合がありません。

読み取り専用で設定されるアクセス リストコンフィギュレーションに関する問題が ILMI コミュニティ

アクセス リストコンフィギュレーションに関する問題は [adviorly](#) LightStream 1010 かルータにこの [セキュリティ](#) で提案される回避策の 1 つが不正確に適用される場合発生する場合があります。スイッチ設定にこれらの行を、スイッチに取り組む ILMI (および PNNI) 停止追加したら:

```
access-list deny any
snmp community ILMI view *ilmi RW
```

これに次の結果があります:

```
bernard# show atm ilmi-st Interface : ATM2/0/0 Interface Type : Private UNI (User-side) ILMI VCC
: (0, 16) ILMI Keepalive : Disabled ILMI State: WaitDevType
```

見てわかるように、ルータの ILMI ステータスは **WaitDevType** にとどまり、アドレス登録は行われません。

ルータに次の設定がスイッチを追加するによりまた ILMI は **WaitDevType** にとどまり、こうしてアドレス登録を防ぎます:

```
access-list <x> [permit|deny] a.b.c.d
snmp-server community ILMI RO <x>
```

ルータおよびスイッチがに正しい状態である場合、セルが VC 0/16 で送信されて、受信されているかどうか確認して下さい。この資料の概要に説明があるコマンドを発行するこれを行うことができます。ルータでこれらの **show** コマンドの発行によってこれを確認できます:

- **show atm pvc 0/16**

- `show atm vc VCD`

LightStream 1010 か Catalyst 8500 MSR で、これらの `show` コマンドを発行して下さい:

- `show atm vc interface ATM x/y/z 0 16`
- `show atm vc traffic interface atm x/y/z 0 16`

```
bernard# show atm pvc 0/16 ATM2/0/0: VCD: 1, VPI: 0, VCI: 16 UBR, PeakRate: 149760 AAL5-ILMI,
etype:0x0, Flags: 0xC27, VCmode: 0x0 OAM frequency: 0 second(s), OAM retry frequency: 1
second(s), OAM retry frequency: 1 second(s) OAM up retry count: 3, OAM down retry count: 5 OAM
Loopback status: OAM Disabled OAM VC state: Not Managed ILMI VC state: Not Managed InARP
DISABLED Transmit priority 4 InPkts: 255, OutPkts: 309, InBytes: 18842, OutBytes: 22657 InProc:
269, OutProc: 319, Broadcasts: 0 !--- Output suppressed. Casimir# show atm vc traffic interface
atm 0/0/0 0 16 Interface VPI VCI Type rx-cell-cnts tx-cell-cnts ATM0/0/0 0 16 PVC 308 316
```

増分する送信されるか、または受信カウンタだけ見る場合セルがスタックしています ILMI をバックプレーンでスタックしていることを意味するかもしれません。インターフェイスの `shut/no shut` コマンドを発行する試み。それが助けない場合、それ以上のトラブルシューティングのための Cisco テクニカル サポートに連絡するため。カウンターが両方とも増分する場合、ILMI PVC はセルをきちんと送信しています。

既知の警告

また ILMI がなぜきちんとアップしていないか説明できるいくつかの既知の不具合があります。これらは Cisco バグ ID [CSCdt47492](#) ([登録ユーザのみ](#))、[CSCdm26756](#) ([登録ユーザのみ](#)) および [CSCdr28332](#) ([登録ユーザのみ](#)) です。

この資料の他は運送 ILMIステータスがすべてのデバイスで正しいと ILMI PVC がアップである仮定し、とセル、そして。それから、ILMI によるアドレス登録障害のための考えられる 原因は次のとおりです:

- スイッチは既に NSAP アドレスを認識しています
- コンフィギュレーションに関する問題

スイッチがNSAP アドレスを認識している場合

これらはスイッチが既に NSAP アドレスを認識しているシナリオです。

NSAP アドレスがスイッチで静的に設定される時

ルータ Bernard で、このメッセージを次のように表示できます:

```
1w1d: %LANE-3-NOREGILMI: ATM2/0/0.1 LEC cannot register
47.00918100000000603E5A4501.00D0069A7C40.01 with ILMI
```

NSAP アドレス 47.00918100000000603E5A4501.00D0069A7C40.01 のためのスイッチで検知するとき、この情報を次のように表示できます:

```
Casimir# show atm route 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.00d0.069a.7c40.01 Codes: I - internal
prefix, E - exterior prefix E 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.00d0.069a.7c40/152 Advertised in
PTSE ID 3 IG IX 0 by node-index 1 Node 1: Port ATM0/0/3, by atm-static, 00:00:39, uni scope 15
adv_trig 0x2, src_mask 0x1, node-index 0, rtaddr_index 1 Casimir# show atm route Codes: P -
installing Protocol (S - Static, P - PNNI, R - Routing control), T - Type (I - Internal prefix,
E - Exterior prefix, SE - Summary Exterior prefix, SI - Summary Internal prefix, ZE - Suppress
Summary Exterior, ZI - Suppress Summary Internal) P T Node/Port St Lev Prefix ~ ~ ~
```

```

~~~~~ P I 9 0 UP 0
47.0091.8100.0000.0010.1f2d.6801/104 P SI 1 0 UP 0 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501/104 R I 1
ATM0/0/3 UP 0 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0000.0c0e.09e7/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4501/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4502/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4503/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4504/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4505/152 S E 1 ATM0/0/3 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.00d0.069a.7c40/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.4000.0c/128 Casimir# show running-config Building
configuration... Current configuration: !! Last configuration change at 12:28:24 UTC Mon Apr 2
2001 ! NVRAM config last updated at 12:28:25 UTC Mon Apr 2 2001 ! version 12.0 !--- Output
suppressed. atm route 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.00d0.069a.7c40... ATM0/0/3

```

上に示されているように、NSAP アドレスはスイッチで静的に見つける必要があるところで設定され、ものからの異なるインターフェイスをこの場合指します。

NSAP アドレスが別のデバイスによってILMI によって登録されている時

このシナリオを再現するために、[Tintin](#) および [Bernard](#) は同じ MAC アドレスで設定されます。

Bernard
<pre> interface ATM2/0/0 mac-address 0000.0000.0001 pvc 0/16 ilmi ! pvc 0/5 qsaal </pre>
Tintin
<pre> interface ATM1/0 mac-address 0000.0000.0001 no ip address atm pvc 1 0 5 qsaal atm pvc 2 0 16 ilmi </pre>

それらが両方同じスイッチに接続されるので、NSAP アドレスはサブインターフェイス ATM 2/0/0.1 で設定された LEC に関連付け、ATM 1/0.1 は同じです：
47.00918100000000603E5A4501.000000000001.01.

Tintin インターフェイス ATM 1/0.1 は Bernard の ATM 2/0/0.1 の前に始動しました。従って、Tintin は ILMI によって NSAP アドレス 47.00918100000000603E5A4501.000000000001.01 を登録する最初のもので、インターフェイス ATM 2/0/0.1 が Bernard で始動するとすぐ、このメッセージは表示する：

```

1w1d: %LANE-3-NOREGILMI: ATM2/0/0.1 LEC cannot register
47.00918100000000603E5A4501.000000000001.01 with ILMI

```

Tintin を検知する場合、Tintin が既にその NSAP アドレスを使用して、Casimir で登録してしまったことがわかります：

```

Tintin# show lane client LE Client ATM1/0.1 ELAN name: ilmi-test Admin: up State: operational
Client ID: 2 LEC up for 39 seconds Join Attempt: 4 HW Address: 0000.0000.0001 Type: ethernet Max
Frame Size: 1516 ATM Address: 47.00918100000000603E5A4501.000000000001.01 VCD rxFrames txFrames
Type ATM Address 0 0 0 configure 47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4505.00 14 1 2 direct
47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4503.01 15 1 0 distribute
47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4503.01 16 0 1 send
47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4504.01 17 2 0 forward

```

47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4504.01

Casimir を検知 する場合、このアドレスが既に登録されてしまったことがわかります:

```
Casimir# show atm route 47.00918100000000603E5A4501.000000000001.01 Codes: I - internal prefix,
E - exterior prefix I 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0000.0000.0001/152 Node 1: Port ATM0/0/3,
by routing-control, 00:01:06, uni scope 15 adv_trig 0x2, src_mask 0x2, node-index 0,
rtaddr_index 1 Casimir# show atm route Codes: P - installing Protocol (S - Static, P - PNNI, R -
Routing control), T - Type (I - Internal prefix, E - Exterior prefix, SE - Summary Exterior
prefix, SI - Summary Internal prefix, ZE - Suppress Summary Exterior, ZI - Suppress Summary
Internal) P T Node/Port St Lev Prefix ~ ~ ~~~~~
~~~~~ P I 9 0 UP 0
47.0091.8100.0000.0010.1f2d.6801/104 P SI 1 0 UP 0 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501/104 R I 1
ATM0/0/3 UP 0 47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0000.0000.0001/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4501/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4502/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4503/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4504/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4505/152 S E 1 ATM0/0/3 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.00d0.069a.7c40/152 R I 1 ATM2/0/0 UP 0
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.4000.0c/128
```

これはそれが重複であるので Bernard が ILMI によってアドレスを登録できないことを意味しま
す。 debug atm ilmi ATM x/y/z コマンドが Bernard および Casimir で発行されるとき、これらの
デバッグは参照される場合があります:

Bernard:

```
!--- Output suppressed. 1w1d: ILMI(ATM2/0/0): Registration local validation attempt for
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0000.0000.0001.01 1w1d: ILMI(ATM2/0/0): Sent Out. Will be added
on confirmation 1w1d: ILMI(ATM2/0/0):Sending out Request 930 1w1d: ILMI(ATM2/0/0):Response
received for request 929 1w1d: ILMI(ATM2/0/0): Errored response <General Error> Function Type =
ilmiReqOther 1w1d: ILMI(ATM2/0/0): Errored or no response received 1w1d: ILMI(ATM2/0/0): ES
database update not done 1w1d: ILMI(ATM2/0/0):Updating ES Database with
7.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0060.3e5a.4502.00 1w1d: Reg Status :- Delete in progress -
False, Add in progress - True 1w1d: ILMI(ATM2/0/0):Response received for request 930 1w1d:
ILMI(ATM2/0/0): Errored response <General Error> Function Type = ilmiReqOther 1w1d:
ILMI(ATM2/0/0): Errored or no response received 1w1d: ILMI(ATM2/0/0): ES database update not
done 1w1d: ILMI(ATM2/0/0):Updating ES Database with
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0000.0000.0001.01 1w1d: Reg Status :- Delete in progress -
False, Add in progress - True 1w1d: %LANE-3-NOREGILMI: ATM2/0/0.1 LEC cannot register
47.00918100000000603E5A4501.000000000001.01 with ILMI !--- Output suppressed.
```

Casimir:

```
!--- Output suppressed. Apr 2 13:10:06.800: ILMI: Validating address
47.0091.8100.0000.0060.3e5a.4501.0000.0000.0001.01 Apr 2 13:10:06.800: ILMI: Address rejected by
Client identified as pnni(ATM0/0/0) !---
```

注: このセクションに説明がある状況は頻繁に次のシナリオで遭遇することができます。 LECS
サービスが設定された on Cisco デバイスであり、他の開発元が既知のアドレスおよびアドバタイ
ジングをデバイス同時におよびすべてのこれらの LECS それ受信すれば、このメッセージは表示
することができます:

```
1w2d: %LANE-3-NOREGILMI: ATM2/0/0 LECS cannot register
47.007900000000000000000000000000.00A03E000001.00 with ILMI
```

LECS がシスコ 以外の デバイス、また Cisco デバイスで設定されると同時に、Fast SSRP の
SSRP を使用できません。これらの冗長性プロトコルの目的は 1 LECS がマスター LECS (バッ
クアップ LECS である他) として選ばれることです。 使用される場合マスター LECS は既知のア
ドレスをアドバタイズすることができる唯一のものです。 この場合冗長性プロトコルを設定でき

ないのでマスター LECS 選択がありません。それ故に、すべての LECS は既知のアドレスをアドバタイズすることを試みますが 1 つだけは成功します。

これを説明するために、コンフィギュレーションは示されているように修正されました:

Bernard
<pre>lane database test name ilmi-test server-atm-address 47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4503.01 ! interface ATM2/0/0 no ip address no ip route-cache distributed no atm ilmi-keepalive pvc 0/16 ilmi ! pvc 0/5 qsaal ! lane config fixed-config-atm-address lane config database test</pre>
Tintin
<pre>lane database test name ilmi-test server-atm-address 47.00918100000000603E5A4501.00603E5A4503.01 ! interface ATM2/0/0 no ip address no ip directed-broadcast logging event subif-link-status lane config fixed-config-atm-address lane config database test</pre>

この新しい設定によって、LECS は Bernard および Casimir で設定され、LECS アドレスデータベースは Casimir で設定されませんでした。これは SSRP が有効にならないことを意味します。エラーメッセージを説明するために、Bernard ATM は 2/0/0 のインターフェイス設定される、Casimir 設定は最初に修正されます前にシャットダウンされ。従ってこの場合、Casimir は ILMI によって既知のアドレスを、Bernard がそうすることを防ぎますアドバタイズしま。Bernard ATM が 2/0/0 のインターフェイス始動するとすぐ、このメッセージは表示する:

```
1w2d: %LANE-3-NOREGILMI: ATM2/0/0 LECS cannot register
47.007900000000000000000000.00A03E000001.00 with ILMI
```

設定に関する問題

アドレス登録の失敗のもう一つの考えられる 原因は LightStream 1010 の設定における問題です。

```
interface ATM0/0/0

no ip address

no ip directed-broadcast

logging event subif-link-status

atm ilmi-keepalive

no atm address-registration
```

上記のコマンドは、この場合、防ぐ ILMI によってルータはプレフィクスおよびスイッチにこうしてまたアドバタイジングを受け取ることをアドレス アドレス登録を防ぎます:

```
bernard# show lane default-atm-addresses interface atm 2/0/0 LANE Client: ...000000000002.**
```



```
LANE Server: ...000000000003.** LANE Bus: ...000000000004.** LANE Config Server:
...000000000005.00 note: ** is the subinterface number byte in hex bernard# show atm ilmi-status
atm 2/0/0 Interface : ATM2/0/0 Interface Type : Private UNI (User-side) ILMI VCC : (0, 16) ILMI
Keepalive : Disabled ILMI State: UpAndNormal Peer IP Addr: 10.200.10.12 Peer IF Name: ATM0/0/0
Peer MaxVPIbits: 8 Peer MaxVCIBits: 14
```

ルータはプレフィクスを受け取らないし、それ故にアドレス登録は行われる場合がありません。

LightStream 1010 の `debug atm ilmi ATM 0/0/0` を有効に するとき、これは ATM 0/0/0 インターフェイスが始動するとき見られる場合があります:

```
!--- Output suppressed. Apr 2 12:42:11.792: ILMI: My Device type is set to Node (ATM0/0/0) Apr 2
12:42:11.792: ILMI(ATM0/0/0): From NodeConfigComplete To UpAndNormal <ilmi_process_intfRestart>
Apr 2 12:42:11.792: ILMI(ATM0/0/0): Keep Alive enabled Apr 2 12:42:11.792: ILMI(ATM0/0/0)
Address Registration disabled. Prefix not sent !--- Output suppressed.
```

ソリューションは ATM アドレス登録を再び有効にし、ILMI を再起動するために ATM インターフェイスの `shut/no shut` をすることです。

[関連情報](#)

- [LANE の推奨設計](#)
- [FSSRP の設定例](#)
- [LANE の設定](#)
- [トラブルシューティング ATM LAN エミュレーション ネットワーク](#)
- [LANE テクノロジーに関するサポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)